



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 2009年度 事業報告

2009.1.1－12.31

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2009」(横浜開催)の開催及び評価

2004年度から<基礎・入門編><研究・実践編>の2本立てで開催してきたが、2009年度からは基礎・入門編を切り離し、実践経験の積み上げのあるボランティアコーディネーターを対象とした研究協議の場に再編した。参加者は募集定員を超える242人、会員の参加は28%だった。

テーマ:「TSUNAGU～超えるコーディネーションで社会を変える」

期 日: 2009年2月28日～3月1日(土～日)

場 所: 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

共 催: 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

参加者: 242人

分科会数: 23分科会

実行委員数: 33人

運営ボランティア: 13人

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
開催要項発送	1月4日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	11人
第10回	1月12日(日)	東京文化会館	18人
第11回	2月1日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	17人
第12回	2月22日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	20人
第13回	3月29日(日)	環境パートナーシップオフィス	16人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2010」(福岡開催)の準備

・福岡市社会福祉協議会との共催により、2010年3月6～7日(土・日)、福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)を会場に、全国ボランティアコーディネーター研究集会2010を開催することを決定した。現地の事務局は福岡市社会福祉協議会ボランティアセンターが担当する。

・福岡県内を中心に実行委員を呼びかけ、準備会を経て6月に実行委員会を立ち上げた。計7回の実行委員会において、大会テーマ「めんたい！ コーディネーション つむごう、よか社会の絆」を決定、全プログラム(全体会、分科会等)を確定した。

※実行委員名簿は資料1(19頁)に掲載

・実行委員会の開催

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	5月 9日(土)	福岡市市民福祉プラザ	30人 (JVCA運営委員を含む)
第1回	6月 21日(日)	福岡市市民福祉プラザ	40人
第2回	7月 5日(日)	福岡市市民福祉プラザ	28人
第3回	8月 9日(日)	福岡市市民福祉プラザ	27人
第4回	9月 19日(土)	福岡市市民福祉プラザ	32人
第5回	10月 11日(日)	福岡市市民福祉プラザ	39人
第6回	11月 15日(日)	福岡市市民福祉プラザ	41人
第7回	12月 12日(土)	福岡市市民福祉プラザ	33人

(2) 研修の開催および研修企画の支援

①ボランティアコーディネーション力3級検定研修の開催 3回(5会場)

主催の検定研修については計画通り3回実施した。共催については、候補団体はあったが、開催時期と細かい条件等で折り合わず、実施できなかった。

検定試験を除く研修の部分のみを大阪会場は大阪ボランティア協会と共催、福岡会場は福岡市社会福祉協議会と共催し、会場確保や運営面で協力を得た。

・ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修カリキュラム

- 1 ボランティアの理解
- 2 市民社会とコーディネーション
- 3 ボランティアコーディネーションの理解

研修時間 合計 5時間

・ボランティアコーディネーション力3級検定 直前研修の開催

	日 程	会 場	受講人数
1	8月29日(土曜日)	東京ボランティア・市民活動センター	80人
2		大阪NPOプラザ	76人
3	11月21日(土曜日)	福岡市市民福祉プラザ	49人
4	12月6日(日曜日)	福祉保健研修交流センターウイリング横浜	66人
5		大阪NPOプラザ	87人

→ 大阪会場での直前研修風景



↓ 東京会場での直前研修



②各種研修セミナーの開催

- ・実務者向け: ボランティアコーディネーター基礎研修 3回

基礎研修を下記のとおり3回実施した。関東・関西以外の地域での実施も1ヶ所予定していたが、開催の体制が整わず、計画を変更した。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修	2月13日(金) 東京文化会館 (東京)	後藤麻理子 小原 宗一 疋田 恵子	36人
第34期ボランティアコーディネーター養成講座 ワカル! デキル! ツナガル! ボランティアコーディネーション <共催:大阪ボランティア協会>	5月30日(金) 大阪NPOプラザ (大阪)	早瀬 昇 石井祐理子 海士 美雪 白井 恭子	47人
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月17日(水) 東京文化会館 (東京)	小原 宗一 後藤麻理子	62人

- ・実務者向け: ボランティアコーディネーター・ステップアップ研修 1回

東京で、中間支援機能を持つセンターの相談業務に焦点をあてたプログラムを実施した。中部開催については、実施出来なかった。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティア相談業務の実践力向上 ～事例検討を通して考える	11月12日(木) ルーテル市ヶ谷センター (東京)	小原 宗一 疋田 恵子	17人

- ・ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座 3回

計画通り3回の講座を実施した。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	7月10日(金) 大阪NPOプラザ(大阪)	加留部貴行	14人
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	8月7日(金) ハピネスケア・四谷 (東京)	加留部貴行	9人
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	9月26日(土) COMBi 本陣(名古屋)	加留部貴行	12人

- ・共催研修

タイトル	期日・会場	講師	参加者
福祉施設・病院のための ボランティアマネジメント研修(基礎編) <共催:練馬ボランティア・市民活動センター>	7月3日(金) 練馬ボランティア・市民 活動センター(東京)	後藤麻理子 樋口 実	22人

③講座等の企画支援と講師等の派遣・紹介

- ・全国各地へ研修講師を派遣し、ボランティアコーディネーションに関わる研修・講座を担当した。

⇒講師派遣実績 87件 / 研修日数 109日 / 派遣講師人数 15人

※講師派遣一覧は資料2(20頁)に掲載

(3) 調査・研究活動の推進

①検定・認定システム化検討委員会の継続

「検定・認定システム化検討委員会」において、2010年度から開始するボランティアコーディネーション2級検定システムの研修内容および形態を検討した。2011年度からの1級検定、JVCA認定ボランティアコーディネーターシステムの開発に向けても2010年度より本格的な検討を開始する。

・検定・認定システム化検討委員会 委員名簿

○委員長

No	委員名	所 属
○ 1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
4	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター
5	小原 宗一	北区社会福祉協議会
6	竹田 純子	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
7	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・検定・認定システム化検討委員会の開催

※参加人数はオブザーバーを含む

回	期 日	会 場	参加人数
第 9 回	1 月 12 日 (祝・月)	東京文化会館	7 人
第 10 回	2 月 11 日 (祝・水)	大阪NPOプラザ	13 人
第 11 回	4 月 12 日 (日)	ちよだプラットフォームスクウェア	6 人
第 12 回	5 月 3 日 (日)	ワールドシティタワーズ	7 人
テキスト打ち合わせ	5 月 10 日 (日)	福岡市市民福祉プラザ	7 人
第 13 回	6 月 14 日 (日)	東京ボランティア・市民活動センター	7 人
第 14 回	7 月 11 日 (土)	キャンパスプラザ京都	7 人
第 15 回	8 月 30 日 (日)	大阪NPOプラザ	9 人
第 16 回	10 月 25 日 (日)	ワールドシティタワーズ	7 人
第 17 回	11 月 14 日 (土)	ワールドシティタワーズ	5 人

②「文化ボランティアコーディネーター活性化委員会」の設置・運営

平成 21 年度文化ボランティア支援拠点形成事業[文化庁委託事業]の申請を行い、受託が決定した。7 月末に標記委員会を設置し、文化ボランティアコーディネーターの養成プログラムを開発し、研修講座を企画した。11 月には全国の関係機関・団体に向けての広報を開始した。

タイトル 文化ボランティアコーディネーター養成講座 in 可児

テーマ CONNECT “ARTS & PEOPLE” アートを奏でる！ みんなを紡ぐ！

内 容 1日目 基調講義「市民社会とコーディネーション」

パネルディスカッション

「文化ボランティアコーディネーターの最前線～現状と課題」

講義「文化ボランティアコーディネーションとアートマネジメント」

2日目 分科会 (A 美術館・博物館 B フェスティバル C 生涯学習

D アートNPO ホール運営)

まとめ(総括研修)

開催日 2010年1月23日(土)～24日(日)

会場 可児市文化創造センター(岐阜県)

・文化ボランティアコーディネーター活性化委員会委員名簿

○委員長

No	委員名	所属	
○1	柴田 英杞	鳥取県文化振興財団	
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	
3	澤野 親司	特定非営利活動法人alaクルーズ	
4	青山 織人	SFK松本ボランティア協会	
5	東谷 千恵子	世田谷美術館	
6	佐藤 成臣	アカデミー文京学習推進委員会	※事務局兼
事務局	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	

・文化ボランティアコーディネーター活性化委員会の開催

回	期日	会場	参加人数
申請準備	5月11日(月)	JVCA事務所	3人
第1回	7月27日(月)	アカデミー茗台	5人
第2回	9月14日(月)	アカデミー文京	6人
第3回	10月4日(日)	可児市文化創造センター	5人
第4回	11月24日(火)	アカデミー茗台	7人

③都立高校教育サポーター養成事業への協力

平成21年度東京都教育委員会が主催する「都立高校教育サポーター養成事業」を共催する国立大学法人東京学芸大学と特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所からの協力依頼を受け、標記の研修プログラムの開発にあたった。(研修実施は2010年)

・都立高校教育サポーター養成プログラム開発委員会委員名簿

No	委員名	所属
1	長 沼 豊	学習院大学
2	廣瀬 隆人	宇都宮大学
3	池田 幸也	常磐大学
4	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
5	小林 郁義	市民活動センターたちかわ
6	小山 陽子	川崎市社会福祉協議会
7	長谷部 治	神戸市長田区社会福祉協議会
事務局	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・都立高校教育サポーター養成プログラム開発委員会の開催

回	期日	会場	参加人数
第1回	12月7日(月)	飯田橋レインボービル	8人

・第1回都立高校教育サポーター養成事業運営委員会(主催:東京都教育庁)への参加

回	期 日	会 場	参加者・人数
第 1 回	11 月 24 日(火)	東京都庁第二本庁舎	東京都 7 人 大学関係 5 人 協力団体 4 人

・都立高校教育サポーター養成講座「高校生と福祉をつなぐコーディネーション」の企画

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

- ① メールマガジン(会員向け)の発行(月1回) 新春特別号、第 44 号～第 55 号の配信
- ② JVCAリーフレットの改訂
検定事業の追加、理事一覧の掲載などの修正を行い増刷した。 3,000 部
- ③ ホームページの充実
大幅なデザインのリニューアルおよびコンテンツの変更などを行った。
- ④ ボランティアコーディネーションに関する情報収集
・ボランティアコーディネーション関連の書籍や論文をホームページの上の「関連書籍・文献データベース」で公開した。
- ⑤ 雑誌・新聞などへの寄稿 など
 - ・『ボランティア情報』(全国社会福祉協議会 全国ボランティア活動振興センター)
 - コーナー名：ボランティアコーディネーション 執筆：後藤麻理子
 - 2009. 4 第 1 回「問われるボランティアコーディネーターの質」
 - 2009. 5 第 2 回「何を大切に“コーディネーション”しているのか」
 - 2009. 6 第 3 回「コーディネーターを配置し、ボランティア受入れを組織活動に」
 - 2009. 7 第 4 回「専門性を確立し、社会的な普及をめざすステップとして」
 - 2009. 8 第 5 回「ボランティアコーディネーターの役割を考える」
 - 2009. 9 第 6 回「ボランティア受入れとリスクマネジメント その1」
 - 2009. 10 第 7 回「ボランティア受入れとリスクマネジメント その2」
 - 2009. 11 第 8 回「ボランティアは“派遣”されるものではないのだけれど」
 - 2001. 12 第 9 回「施設とボランティアセンターの協力関係をつくる」
 - コーナー名：2009 年ボランティア・市民活動をめぐる 1 年の動き
 - 8 月「ボランティアコーディネーション力検定」開始
 - ・2009. 5 『市民活動総合情報誌Volo』(大阪ボランティア協会)
 - 特集「検定」という市民運動記事「準備が進むボランティアコーディネーション力検定取材
 - ・医療・介護CBニュース：練馬ボランティア・市民活動センター共催研修取材
 - ・資格と仕事.net(リクルート)「3級検定PR」
 - ・2009. 7. 13 『福祉新聞』「Vr コーディネーション力3級検定受験者募集」
 - ・2009. 7・ 8 『市民活動総合情報誌Volo』(大阪ボランティア協会)
 - パラボラNEWS「ボランティアコーディネーション力検定」今夏スタート！
 - ・2009. 10 『Expert Nurse(エキスパートナース)』： 今月のキャリアUP NEWS
「院内ボランティアを支えるボランティアコーディネーション力検定」
 - ・2009. 11・12『ネットワーク』(東京ボランティア・市民活動センター)
 - トピックス ボランティアコーディネーション力検定試験がスタート

- ・2009. 11 『市民活動総合情報誌Volo』(大阪ボランティア協会)
《V時評》ボランティアコーディネーション力検定が意味するもの:(本会運営委員・検定システム化検討委員長 筒井のり子が執筆)
- ・2009. 6. 10 『学校ボランティアコーディネーション』(長沼豊編著)発行:筒井書房
資料編:日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)」とは

(5) 広報紙および出版物の発行)

①ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:4月、8月、12月)

4月25日	第26号	特集:CoCoサロンの魅力に迫る	800部
8月30日	第27号	特集:大学ボランティアセンターの実態に迫る	500部
12月25日	第28号	特集:ボランティアコーディネーション力検定 一年を終えての成果と課題を振り返る	500部

②『市民社会の創造とボランティアコーディネーション～ボランティアコーディネーション力検定公式テキスト』の編集

有限会社筒井書房から標記のテキストを発行した。執筆は、早瀬昇(大阪ボランティア協会/JVCA副代表理事)、筒井のり子(龍谷大学/JVCA認定・検定システム化委員会委員長)の2名が担当し、編集は日本ボランティアコーディネーター協会が行った。

(6) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力3級検定試験の実施 5回(7会場)

主催検定を5回(7ヶ所)実施した。これに加えて、他団体との共催を2回計画したが、開催時期や条件面での話し合いがつかず、年度内には実施できなかった。

ボランティアコーディネーション力検定

ロゴマーク⇒



・検定試験の実施

回	期日	会場
第1回	8月29日(土)	東京ボランティア・市民活動センター
		大阪 NPO プラザ
第2回	10月16日(金)	北とびあ(東京)
第3回	10月23日(金)	大阪 NPO プラザ
第4回	11月21日(土)	福岡市市民福祉プラザ
第5回	12月6日(日)	福祉保健研修交流センターウィリング横浜
		大阪 NPO プラザ

・試験結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	合計
受験者数	166人	9人	6人	49人	158人	388人
合格者数	145人	8人	6人	39人	141人	339人
合格率	87.3%	88.9%	100%	79.6%	89.2%	87.4%
平均点	81.3点	77.6点	81.3点	76.8点	83.6点	80.1点

②ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の設置

ボランティアコーディネーション力検定の実施に向けて試験委員会を設置した。

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 委員名簿 ◎委員長 ○副委員長

No	委員名	所 属
◎1	長 沼 豊	学習院大学
○2	筒井のり子	龍谷大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
4	柴田 英杞	鳥取県文化振興財団
5	早 瀬 昇	大阪ボランティア協会

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会

※参加人数は検定事務局を含む

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	6月7日(日)	JVCA事務所	4人
第2回	7月4日(土)	JVCA事務所	5人
第3回	7月25日(土)	学習院大学	6人
第4回	8月16日(日)	JVCA事務所	4人
第5回	9月7日(月)	龍谷大学セミナーハウス ともいき荘	4人
第6回	9月20日(日)	JVCA事務所	3人
第7回	10月25日(日)	ワールドシティタワーズ	4人
第8回	11月2日(月)	龍谷大学セミナーハウス ともいき荘	4人
第9回	11月22日(日)	岸町ふれあい館	4人
第10回	12月19日(金)	JVCA事務所	3人

再掲: ③ボランティアコーディネーション力3級検定研修の開催 5回

再掲: ④『ボランティアコーディネーション力検定テキスト』(仮題)の編集

⑤ボランティアコーディネーション力3級検定の講師養成

2009年度は、3級検定研修講師を、早瀬昇、筒井のり子、長沼豊、妻鹿ふみ子の4人が担当した。2010年以降に向けて、検定講師候補9人を選任し、テキスト編集段階からの内容の共有と研修の傍聴を行った。

⑥ボランティアコーディネーション力2級検定のトライアル研修の実施

2級検定の研修カリキュラムの開発に合わせて、トライアル研修を実施する予定だったが、プログラムについての検討状況と講師陣の日程調整により、2010年2月に開催することになった。

⑦検定・認定システム実行プラン 推進チームの設置

・検定・認定システム実行プラン推進チームメンバー

	委員名	主要タスク			
	中村 彰利	検定システム広報	件数	内容	件数
ボランティアコーディネーターに関すること	佐藤 成臣	検定システム広報	30	入会希望・問合せ	24
ボランティア活動に関すること	竹田 穂子	検定実施にかかわるボランティアの設計	9	会員種別変更・退会	23
研修講師依頼・手続き・調整	加藤部 貴行	検定直前研修 講師養成	73	会費納入	8
主催研修の日程／内容	早瀬 昇	検定収支シミュレーション	43	事業協力・後援依頼	4
JVCCに関すること		45		関係(者)団体連絡先照会	3
図書購入・照会		25		VCO検定	101
取材		5		その他	24
合計					417

(7) 相談への対応

(8) ネットワーク推進事業

① CoCoサロンの開催・運営支援

- ・各地のCoCoサロンの活動状況を把握するために、「CoCoサロン調査」を実施し、『CoCoサロンガイドブック』を更新し、ミーティング等で配付した。

- ・「CoCoサロン世話人ランチミーティング」の開催

全国ボランティアコーディネーター研究集会2009の昼食休憩を活用して、CoCoサロンの世話人を中心とする交流会を実施した。

期 日	会 場	参加人数	企画メンバー
3月1日(日)	ウイリング横浜 和室	17人	2人

- ・CoCoサロンの開催状況

<開催状況一覧>

日 程	地域/分野	会 場	参加	主な内容
1月13日 (火)	とちぎ	とちぎボランティアNP Oセンター「ぼぼら」	8人	多分野のコーディネーターが集まり、現場での葛藤や関心のあるテーマを自由に出して話し合った。
1月25日 (月・祝)	神奈川	横浜市ボランティアセ ンター	11人	基本指針を読む会のトライアルとして開催した。
2月12日 (木)	埼玉	下落合コミュニティセ ンター	10人	広報普及委員会のはたらきかけで、基本指針を読む会を開催した。
2月14日	庄内	鶴岡地域職業訓練セ	19人	筒井のり子さんをゲストスピーカーに

(土)	(山形)	ンター		迎えて、ボランティアコーディネーターの役割や検定などの話題を提供いただきながら、第1回のCoCoサロンを開催した。
2月15日 (日)	福祉施設& 病院 in 関西	京都福祉サービス協会総合福祉施設修徳	15人	ボランティアとの関わりで困った、うまくいかないなどをテーマにグループワークを実施。ゲーム感覚を取り入れ楽しく開催した。
3月24日 (火)	とちぎ	とちぎボランティアNP Oセンター「ぼぼら」	7人	多分野のコーディネーターが集まり、現場での葛藤や関心のあるテーマを自由に出して話し合った。
4月12日 (日)	福祉施設& 病院 in 関東	社会福祉奉仕団日本 キリスト教奉仕団 障害者総合福祉施設 アガペセンター	12人	これまでの実践事例報告会に現場訪問を加え、CoCoサロンをリニューアル。アガペセンター現地見学と、ボランティア受け入れについての話を聞いた。
6月8日 (月)	とちぎ	とちぎボランティアNP Oセンター「ぼぼら」	6人	多分野のコーディネーターが集まり、福祉教育とボランティアの本質についてなど、現場の葛藤を出して、話し合った。
7月24日 (金)	学校教育	あんさんぶる荻窪	20人	学校の怪談をテーマに、コーディネーターが経験した学校からの相談のなかでの困った事例ややりとりを出し合い、関わり方をグループワークを通して考えた。
7月26日 (日)	U-30 in 関西	加島人権文化センター(大阪)	8人	学生と関わる場面での「困ったな」「難しいな」「どうしよう」と思った事例を持ち寄り、学生の主体的を引き出すコツやうまくコミュニケーションが取れない学生への対応などについて意見交換をした。
8月6日 (金)	ながの	長野市ふれあい福祉センター	18人	筒井のり子さんをゲストに招き、日々のコーディネーションの悩みを出し合い、その後、3つのテーマに分かれて協議した。
8月23日 (日)	東海	COMB i 本陣	8人	ボランティアコーディネーター基本指針を音読しながら、ボランティア観の違いなどによる相談の困難事例への対応について話し合った。
10月3日	福祉施設&	上田市ふれあい福祉	21人	福祉施設で活動しているボランティア

(土)	病院IN信州	センター		団体や個人の事例を共有し、グループに分かれて課題の整理と意見交換を行った。
11月15日 (日)	福祉施設& 病院 in 関東	三郷市立戸ヶ崎老人 デイサービスセンター	8人	メンバーの職場を訪問しながら、センターにおけるボランティアコーディネーションの実情について学び、見学と話し合いを行った。
12月18日 (金)	学校教育	東京ボランティア・市民活動センター	15人	渋谷ファンインでボランティアリーダーを続ける梅原真理子さんを招いて開催。青少年が自ら行動を起すような活動を生み出すコーディネーションについて話し合った。

②CoCoアカデミーの開催

会員対象に行ったニーズ調査から、基礎研修を行っていない地域の会員からの開催場所についての不満や要望が明らかになった。また、中堅・ベテランコーディネーターが、ステップアップできる次の段階の研修機会を求めている意見もみられたことを受け、中堅・ベテラン層へ向けたミニ研修の開催を新規で企画した。

開催については、会員メーリングリストとめるまがCo☆Co☆Net、およびロコミにより、開催地の募集を周知し、数件の問合せ対応や働きかけを行ったが、希望者(地)は出なかった。

③メーリングリストの活用

- ・会員相互の情報交換、意見交換のツールとしてメーリングリストが活用された。400件
- ・事務局から会員への情報提供に活用した。

④国内外の関係団体との連携

- ・インターナショナルボランティアネットワークセミナー2009(ハワイ開催)の企画・参加

2009年8月19日～23日にハワイにおいて開催を予定していた「インターナショナルボランティアネットワークセミナー2009」について、ハワイ側から時期を変更したい旨の要請があったが、日本側のメンバーの都合がつかず中止となった。

- ・ファシリテーションフォーラム2009(主催:日本ファシリテーション協会)への協力

日 時 2009年5月24日(日曜日) 13:00-15:00

事業名 ファシリテーションフォーラム2009

セッション「市民の“自発性”を“揮発”させるな！」

＝気持ちよくボランティアを続けるための100のアイデア＝

講 師 小原宗一(研修開発委員長)

参加者数 20人

(9) アドボカシー活動の展開

①ボランティアコーディネーションの普及啓発

主催研修や講師派遣などで「ボランティアコーディネーター基本指針(A4簡易版)」を活用して、その普及啓発を行った。

②「基本指針を読む会」の開催促進

「基本指針を読む会」のトライアルをもとに開催事例をまとめ、「基本指針活用マニュアル」パンフレット(A3判サイズ)を作成した。下半期はブックレット「ボランティアコーディネーター基本指針」にこれを折り込み、配布した。

③ポスターキャラバンの実施

JVCAとボランティアコーディネーターについて普及するためのアクションを、会員とともにすすめるために、PR用のポスター案の検討を行った。

④社会情勢に応じたアドボカシー活動の展開

介護支援ボランティア制度等の実施動向を把握し、実施している市町村(社協)の中から数件のインタビューを行い、状況についての情報収集を行った。

(10) ボランティアコーディネーターの実践を助けるツールの開発と活用

研修やボランティアコーディネーション実践に役立てるために、リコグニションカード、ワークブック:ボランティアセンター自己評価ツールなどを活用した。

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会

日 時 2009年3月1日(日曜日)15時45分～17時40分
 会 場 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 12階
 正会員数 295人
 定 足 数 148人
 出席者数 198人(議場61人／書面表決91人、委任46人)
 審議事項 第1号議案 2008年度事業報告案ならびに決算案について
 第2号議案 2009年度事業計画案ならびに予算案について
 第3号議案 定款の変更について
 第4号議案 役員の選任について(監事の欠員を補充)

(2) 理事会 3回開催(2月、7月、12月)

回	日 程	会 場	出席	主な審議事項
第 27 回	2月11日 (祝・水)	大阪NP Oプラザ	15人	第1号議案 2008年度 事業報告案・決算案 第2号議案 2009年度 事業計画案・補正予算案 第3号議案 定款の変更 第4号議案 役員の変更 第5号議案 2009年度運営委員選考委員の選任
第 28 回	7月25日 (土)	学習院 大学	15人	第1号議案 上半期事業執行状況報告ならびに 今後の推進 第2号議案 次期中期ビジョン(2011-2013)策定の 体制とスケジュール 第3号議案 ボランティアコーディネーション力2級検 定実施内容

				第4号議案 東京都教育庁委託事業の申請
第29回	12月20日 (日)	龍谷大学 セミナー ハウス ともいき荘	15人	第1号議案 2010年度 事業計画案・暫定予算案 第2号議案 検定試験委員会要項の改訂と2010年 度試験委員の選任 第3号議案 ボランティアコーディネーター倫理綱領 (第1次案)

(3) 委員会

①運営委員会

- ・2009年度運営委員の任命（任期：2009.4～2010.3）

2009年度の運営委員公募に40人が応募され、運営委員選考委員会（理事会からの委嘱）における審査を経て、代表理事が1人の辞退者を除く39人を運営委員に任命した。さらに、4月の運営委員会においては、運営委員長に加留部貴行、副運営委員長に唐木理恵子、長谷部治を互選した。

○運営委員名簿 39人

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	鶴岡市第四学区社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	岩井 俊宗	栃木	宇都宮市民活動サポートセンター
4	足立 陽子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
5	上田 英司	東京	特定非営利活動法人NICE
6	小原 宗一	東京	北区社会福祉協議会
7	唐木理恵子	東京	練馬ボランティア・市民活動センター
8	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
9	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
10	小林 郁義	東京	立川市社会福祉協議会市民活動センターたちかわ
11	佐藤 成臣	東京	アカデミー文京学習推進委員会
12	鈴木 裕子	東京	
13	高木 寛之	東京	大妻女子大学
14	疋田 恵子	東京	杉並ボランティア・地域福祉推進センター
15	平野 幸子	東京	明治学院大学社会学部附属研究所
16	日下部真美子	神奈川	訪問の家 集
17	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
18	小山 陽子	神奈川	川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター
19	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会南ボランティアセンター
20	小野 智明	長野	上田女子短期大学
21	坂口 平	長野	上田悠生寮

22	鈴木 盈宏	愛知	トヨタボランティアセンター
23	山方 元	愛知	愛知県立蒲郡高等学校
24	渡邊 文人	愛知	特定非営利活動法人愛・地球博ボランティアセンター
25	居合 由紀	京都	京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設西七条
26	岡下 晶子	京都	薬師山病院
27	中村 彰利	京都	京都YMCA
28	竹田 純子	京都	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
29	西村こころ	京都	京都福祉サービス協会
30	福本 滋	京都	京都ボランティア協会
31	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
32	白井 恭子	大阪	大阪ボランティア協会
33	早 瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会
34	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会 ボランティアセンター
35	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
36	長谷部 治	兵庫	長田ボランティアセンター
37	松若 玲奈	兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
38	加留部貴行	福岡	九州大学（西部ガスから出向）
39	松尾 林	福岡	福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター

・運営委員会の開催

計画通り、月1回運営委員会を開催した。5月の運営委員会については、JVCC2010を開催する福岡において、JVCC2010実行委員会の準備会と連動して開催した。また、7月については例年どおり、運営委員会合宿の一環として開催した。

回	日程	会場	出席
第1回	1月18日(日)	大阪NPOプラザ	15人
第2回	2月1日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	18人
第3回	3月15日(日)	総合福祉施設 修徳(京都)	17人
第4回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)	29人
第5回	5月10日(日)	福岡市市民福祉プラザ	26人
第6回	6月14日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	20人
第7回	7月12日(日)	木もれび(雄琴温泉)	30人
第8回	8月8日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	22人
第9回	9月13日(日)	大阪NPOプラザ	16人
第10回	10月12日(月・祝)	COMB i 本陣	25人
第11回	11月22日(日)	岸町ふれあい館(東京)	21人
第12回	12月20日(日)	龍谷大学セミナーハウス ともいき荘	21人

②各種委員会の運営

i) 広報普及委員会…会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

回	日程	会場
第1回	2月1日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第3回	5月10日(日)	福岡市市民福祉プラザ
第4回	6月14日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第5回	8月8日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第6回	9月13日(日)	すかいらく(大阪)
第7回	10月12日(月・祝)	COMB i 本陣
第8回	11月22日(日)	岸町ふれあい館(東京)

ii) 会員サービス委員会…会員継続支援、CoCoサロン開催支援、Co☆Co☆Net編集など、団体内部に向けた広報・支援

回	日程	会場
第1回	1月18日(日)	すかいらく(大阪)
第2回	2月1日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第3回	3月15日(日)	総合福祉施設 修徳(京都)
第4回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第5回	5月10日(日)	福岡市市民福祉プラザ
第6回	6月14日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第7回	7月11日(土)	木もれび(雄琴温泉)
第8回	9月13日(日)	大阪NPOプラザ
第9回	10月12日(月・祝)	COMB i 本陣
第10回	11月22日(日)	岸町ふれあい館(東京)

iii) 研修開発委員会 ※4月からは基礎研修を中心とする研修の企画・調整・実施

回	日程	会場
第1回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)

iv) JVCC企画委員会…全国ボランティアコーディネーター研究集会2009・2010の企画、今後のあり方検討

回	日程	会場
第1回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)

v) 財政委員会…中期的な財政シミュレーションと具体的な財源強化対策

回	日程	会場
第1回	4月5日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第2回	10月12日(月・祝)	COMB i 本陣

③専門委員会の設置、運営

i) 検定・認定システム化検討委員会(継続) ⇒前掲

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、各種チームを構成し、事業の進行を図った。

- i) 研修実施プロジェクトチーム ⇒基礎研修の実施
- ii) ホームページメンテナンス・タスクチーム ⇒ホームページの更新

⑤中期ビジョン2011－2013策定チームの設置 ※2009－2010 2年間

長谷部理事をリーダーにチームを結成し、12月20日に中期ビジョン作成に向けての理事・運営委員合同ワークショップを実施した。既存の事業の振り返りを行うとともに、今後に向けての課題を抽出した。

メンバー 長谷部治(理事)、竹田純子(運営委員)、JVCA事務局

⑥ボランティアコーディネーター倫理綱領作成チームの設置

運営委員会の推薦により9月に作成チームを決定した。4回のミーティングを行い、運営委員会、理事会に「ボランティアコーディネーター倫理綱領」のたたき台を提出した。

メンバー 妻鹿ふみ子(代表理事)、平野幸子(運営委員)、高木寛之(運営委員)、JVCA事務局

(4) 監事監査の実施

2008年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2009年1月27日(火曜日) 18:00～20:00 場所 JVCA 事務所

(5) 第6期理事候補者選任選挙(投票)の実施

第6期役員改選に向けて、理事候補者選任選挙を実施した。(理事定数の過半数8人を選出)

選挙人(正会員) 317人 被選挙人(再任できない理事を除く) 313人

選挙期間 2009年11月11日～12月2日 投票者総数 103人 投票率 32.5%

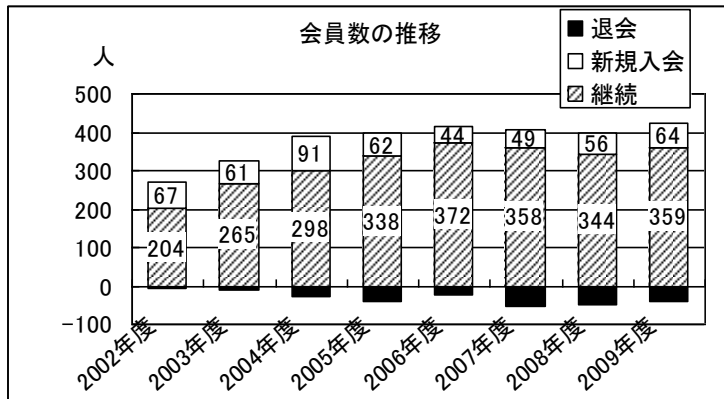
選挙管理委員 唐木理恵子、小原 宗一 (いずれも次期再任できない理事)

(6) 会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

- ・主催研修、講師派遣研修、JVCC、CoCoサロンなどの場で、入会のPRならびにチラシの配付を行った。
- ・3級合格者に対して、合格通知送付時にJVCAの案内とJVCC2010開催のお知らせを行い、入会を勧めた。

2009年度 新規入会者 64人 / 退会者 40人



▼2009年度末の会員状況

正会員	318
準会員	55
賛助会員(個人)	36
賛助会員(団体)	14
合計	423

②会員サービスの見直しとサービスの拡充

会員のニーズを的確に把握し、会員がJVCAにコミットする機会拡大とJVCAをより身近な存在として感じられるサービスとして、CoCoサロンを主軸とした地域や分野における会員相互の意見・情報交換とボランティアコーディネーションの普及・啓発の場づくりを推進した。

③会員継続支援サービスの充実

準会員から正会員への移行を促すような「会員継続支援サービス」を充実し、会員の定着と会費未納者を減らすための工夫を行なった。

- ・4月のCo☆Co☆Net発送の際に、会費未納の準会員に対して妻鹿代表理事の手紙と署名を入れた正会員への移行を促すお願い文書を同封した。
- ・11月～12月にかけて、会員未納者に対して、理事・運営委員が分担をして会員継続と会費納入のカードを作成し、Co☆Co☆Netとともに送付した。
- ・3級検定の研修参加費・検定料について、テキスト代相当(2,100円)の正会員割引を設けた。

(7) 事務局運営の充実

①事務局スタッフの強化

新規事業が増えるため、事業推進の有給スタッフを増強した。

4月より、非常勤(週4日)のスタッフを採用した。主として、ボランティアコーディネーション検定の準備と講師派遣調整などを担当した。

②事務局担当理事の設置(継続) 坂口和隆理事

10月に新規スタッフ採用における事務局業務の実情についての評価を行い、下記のような成果を確認した。

- ・事務所不在時間の減少
- ・相談対応件数の大幅増
- ・新規事業の計画的な遂行

(8) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員特典(JVCC・研修・セミナー参加費割引など)を積極的に周知し会員の勧誘を図るとともに、現会員に向けての会費納入の依頼を段階的に行なった。

②事業収益の拡大

講師派遣事業については前年同様予算を大幅に上回った。図書販売については、JVC Cや研修会場において随時行ったが、新刊図書がないため、大幅な収入にはつながらなかった。一方、理事・運営委員が執筆した図書を販売受託し、手数料(2割)の収入を得た。

③その他財源の拡大(助成金、委託事業など)

- ・東京都教育庁「教育サポーター事業」について協力し、研修プログラムの開発を行い、2010年2月に20時間の研修を開催する。(協力費:200万円)
- ・文化庁より「平成21年度文化ボランティア支援拠点形成事業」を受託し、研修プログラムの開発を行い、2010年1月に研修(セミナー)を開催する。
- ・助成金については申請を行わなかった。